



消防学校 ニュース



令和4年9月号

初任科第93期第2回野外訓練

活動方針： **安全・確実・迅速**

第2回野外訓練は、初任教育の一環として、近い将来の発生が危惧されている『南海トラフ巨大地震』の発生を想定して実施するものです。学校訓練施設における各種訓練及び校外での夜間強歩訓練を行い、消防職員として必要である強靱な体力・精神力を養成するとともに、消防の任務である大規模災害における要救助者の救出を目的として行いました。

訓練当日昼間は消防学校において震災時対応訓練、土砂災害対応訓練などを実施、その後、夜間から朝にかけて、災害現場への歩行移動を想定し約 20kg の装備を背負い、富士マリンプールから学校までの約 30km を踏破し、学校到着後は、仮想大規模災害現場にてブラインド型想定訓練を実施しました。

(担当教官コメント)

一昔前まで、大規模災害は忘れた頃にやってくると言われていましたが、近年は忘れる前にやってくるといわれています。

学生には、必ず過酷な災害現場に行かなくてはならないこと、助けを待つ市民がいることを伝えて学生を鼓舞し、学生も日頃の実科訓練以上に集中することにより、達成感も一入であったと思います。

最後までやり切った学生、途中でリタイアしてしまった学生にとっても、今後の消防人生の役に立つことはもちろんのこと、2日間の過酷な訓練は、学生にとって必ず財産になることを確信しています。

教務課主査 望月 竜之介 (志太消防本部から派遣)

初任科第93期 第2回野外訓練の概要

- 実施日時
令和4年 8月10日(水) 9:00
～ 8月11日(木) 7:30
- 訓練内容・場所
第1部 消防学校訓練施設で通常業務
各種訓練
第2部 夜間強歩訓練
(富士マリンプール～消防学校:約30km)
第3部 大規模災害現場でブラインド型訓練
- 日程表
10日(水)
6:15 起床
6:30 日朝点呼・早朝体育(資器材準備)
7:30 朝食
8:20 日直寮直交代
9:00 校長訓示・各種訓練開始
15:15 各種訓練終了 夕食・入浴
17:30 消防学校出発(バス)
18:30 富士マリンプール到着
19:00 夜間強歩訓練開始
11日(木)
5:10 帰校
6:00 ブラインド型訓練開始
7:40 訓練終了

学校長訓示



第1部 活動イメージ「通常訓練」

震災時対応 応用訓練



土砂災害対応訓練



腕力登はん訓練



第2部 夜間強歩訓練

出発

18:48

19:00

富士マリンプール

3.02km

19:20

19:35

富士と港の見える公園

3.80km

20:28

20:40

田子の浦みなと公園

2.95km

21:25

21:40

入道樋門公園

2.70km

22:18

22:35

富士川緑地公園

2.50km

23:05

23:30

日の出公園

2.90km

0:24

0:40

新蒲原駅

3.70km

1:30

1:50

港北消防署庵原分署

2.50km

2:52

2:55

由比駅東公園

3.0km

4:09

4:05

薩埵峠駐車場

3.50km

到着

5:10

5:25

消防学校

実績時間

予定時間



出発前 整列



ひたすら歩く



休憩時間は仮眠



夜も明けはじめ後少し



消防学校到着

第3部 活動イメージ「ブラインド型訓練」

疲労困憊のなか土砂災害訓練開始



野外訓練学生感想

(総代 浜松 鈴木学生)

第1回野外訓練での教訓を活かし万全の状態を当日に向かえ、ピシッと総代の一言をいい完歩して皆を鼓舞する。そんな理想をイメージして準備も周到にしてきた。全ては1か月半前から始まっていた。担当教官との打合せからも第2回野外訓練への情熱を感じ、期待に応えたいと思った。

野外訓練当日となり、初任科生は全員気合が入っているのが感じられた。

一部訓練は、炎天下での重作業であったが災害を想定した訓練内容でとても勉強になった。疲れた状態での夜間歩行訓練を経験し、皆で乗り越えられたのは第93期の絆があったからだと思う。

(A学生)

記憶に残る訓練となった。今回の訓練やこれまで聞いた教官からの経験談から、数ある事故・災害から救命できることばかりではないということの現実を知ることになったが、それでも救命は消防を志した初心であり、それを絶やすことなく消防人生を歩んでいく決意がより固くなった訓練になった。

(B学生)

今後もし災害が起こるようなことがあれば、いつでも全力で対応できるよう身体のケア、体力、精神力、筋力の向上に努めていきたい。プロである自覚を持っていかなければいけないことを感じた訓練であった。